

市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

◆白河市南湖森林公園条例

南湖公園のすぐれた歴史的風土とそれに隣接する豊かな自然を生かし、森林環境に対する市民意識の高揚を図ることを目的に南湖森林公園を設置するため、この条例を制定するものです。

内容的には、同園内に設置する管理棟の利用期間は3月1日から11月30日までとすること、利用時間は午前8時から午後5時30分とすることや、公園・管理棟に係る行為の制限・禁止等を定めるものです。なお、10月23日(土)午前10時から開園式が行われました。



南湖森林公園 (管理棟)

●白河市南湖森林公園の概要

事業期間 平成18年度～平成22年度

総事業費

2億7410万円

地区面積

20・4ヘクタール

概要

南湖に隣接する市有地を主体とした区域で、市街地に存在する里山として、南湖の周辺環境を保全する機能を果たしてきましたが、間伐や下刈などの適切な維持管理が行われず、不良木や松食い虫などにより森林環境が悪化したことから、「人が集まりまた来たくなる楽しい里山」を基本方針とし、平成18年度事業着手時から市民参加による「南湖



南湖森林公園 (展望台)

森林公園づくり市民懇談会」を設置し意見を取り入れながら、里山を再生することを目的に整備を進めてきました。平成21年度において、22年度事業の一部を前倒して、今年度の開園となりました。

今後は、森林学習の提供、森林林業者の育成、都市と山村の交流機会の創出などを目指しています。

国民健康保険特別会計

補正予算(第2号)

歳入歳出補正総額は1024万7000円の増額となり、歳入歳出予算総額は61億752万2000円となりました。款別補正の歳入については、国庫支出金557万5000円、繰入金235万8000円、繰越金231万4000円をそれぞれ増額補正するものです。歳出については、総務費は、人事異動に伴う人件費の整理で23万8000円、レセプトオンラインのための国民健康保険団体連合会等負担金557万5000円の計793万3000円、予備費231万4000円をそれぞれ増額補正するものです。



委員会審査

一般会計補正予算

(第2号)

●市民部関係

集会所整備事業について

集会所建築面積の増(1棟分)及び森林整備加速化・林業再生基金事業の補助事業費確定に伴う建築費の増等で1876万1000円の増額補正です。

今年度は、昭和町・本沼・下黒川・郷土(白河地域)、下宿(表郷地域)、増見(大信地域)、安道・坂本(東地域)の8棟が建設されます。

問 集会所の整備状況は。また、今後の整備計画について伺う。

答 167町内会中、161集会所が整備されている。今後の建設に当たっては、昭和56年の建築基準法の改正で、新耐震基

準が定められる以前に建設され老朽化が進んでいる約50棟については、合併特例債を活用して、今年度から平成27年度まで、毎年度8カ所程度の建設を予定しています。

●産業部関係

自然環境保全林事業について

新規事業として、国営隈戸川地区かんがい排水事業における田の沢ダム用地を国から取得し、自然環境保全林等として活用するため、621万円を増額補正するものです。

問 取得後の利活用について伺う。

答 自然環境保全林として活用するほか、権太倉山登山者の駐車場及び遊歩道としての活用も視野に入れ検討します。



自然環境保全林事業 (大信地域)

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。